

2010-03-19

慶應義塾大学大学院文学研究科図書館・情報学専攻における現職者教育

慶應義塾大学文学部
上田修一

1 概要

1951年 文学部図書館学科(日本図書館学校)
1968年 大学院修士課程図書館・情報学専攻
1970年 大学院博士課程図書館・情報学専攻
2004年 大学院修士課程内に新コースを設置

情報資源管理分野 (入学定員 10名)

いわゆる「学術大学院」として設置

出願資格：大学院修士課程の出願資格に加えて

- 1 大学卒業後3年以上であること
 - 2 図書館等における実務経験あるいは司書資格を有すること
- の両方をみたらす。

試験科目：専門科目(図書館・情報学)

授業：月曜、木曜の夜間(18:10～21:20)

土曜日の午後(13:00～18:00)

2006年 大学院博士課程を昼夜開講制に変更

大学院の図書館・情報学専攻は、学部の上に設置

博士課程図書館・情報学専攻 (昼夜開講)	
修士課程 図書館・情報学 分野 (昼間)	修士課程 情報資源管理 分野 (現職者, 夜間)

研究志向

実務志向

慶應義塾大学大学院 情報資源管理分野 修士課程

2006年度から昼夜開講の
後期博士課程も併設しています



平日夜間と
土曜日に開講
最新の知識と技術を
勤めながら修得!

●一 出願資格 一 文学研究科入学試験出願資格を満たした上、さらに「大学卒業後3年以上に加え、図書館等における実務経験あるいは司書資格を有すること」

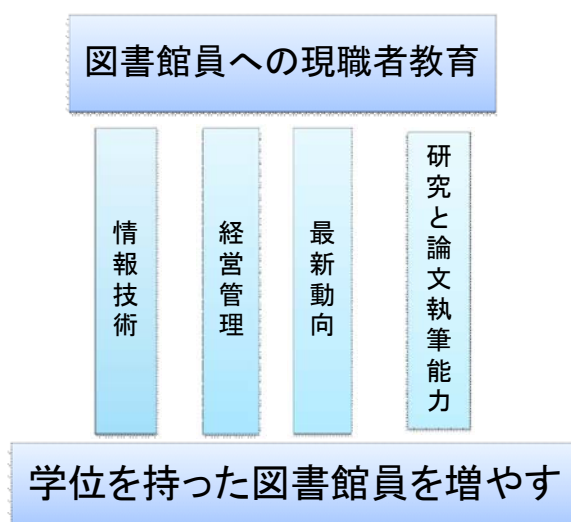
●一 入学試験 一 専門科目(第1次試験)と口頭試問(第2次試験)
2010年3月1日、3月4日
(出願は2010年1月22日～27日)

●一 説明会 一 2009年12月12日(土) 11時30分～
三田キャンパス南館地下2階2B24教室

詳細は <http://www.slis.keio.ac.jp/> をご覧ください
お問い合わせは slis-info@slis.keio.ac.jp まで

図書館員に修士号

2 目的



3 科目構成

内容
図書館の経営と管理（経営学含む）
大学図書館の運営
公共図書館の運営
資料組織
資料管理
情報メディア
大学図書館とデジタル化
レファレンスサービス論
情報検索
利用者サービス論
情報処理技術演習
情報技術とネットワーク
データベース構築
図書館の法と制度
図書館のトピックに関するオムニバス形式の科目（大学図書館）
図書館のトピックに関するオムニバス形式の科目（公共図書館）
研究調査法
学術論文の書き方
研究指導
論文要約発表

修士論文

4 学生数

	修士課程	博士課程
2004年	14名	
2005年	11名	
2006年	7名	7名
2007年	8名	1名
2008年	12名	3名
2009年	9名	3名

大学図書館	32名	(52.1%)
公共図書館	13名	(21.3%)
その他	16名	(26.2%)

年齢層は20歳代後半から30歳代が中心

- 5 教員 文学部人文社会学科図書館・情報学専攻 専任8名（内有期1名）
非常勤講師 4名～5名

6 修了者の感想

畠山珠美. 社会人大学院の意義：2年間の大学院生活を振り返って. 情報の科学と技術. Vol.59, No.2, p.65-68(2009)

得られたもの

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1 学ぶ楽しさ | レポートなどの達成感 |
| 2 学生の立場で図書館利用 | 改善点がわかってくる |
| 3 新たな交友関係 | 異なった職場だが、同じ問題や悩みを相談できる人々 |

仕事とのつながり

- 1 自分の図書館の評価ができる
- 2 最新トピックの議論ができる
- 3 「図書館」を考える
- 4 論文執筆に取り組む

7 利点と課題

- | | | |
|-----------|----------|--------|
| 1 交流 | 院生と図書館員間 | 様々な年代間 |
| 2 転職や雇用 | | |
| 3 志願者の変化 | 滞留者の増加 | |
| 4 教育体制の維持 | | |

Q&A

■入学試験はいつ行われますか。

毎年、9月下旬と3月上旬の2回行います。

■入学試験の出願期間を教えてください。また入試要項の入手方法は？

次年度入学者の試験の出願期間は、例年、9月に行われる入学試験(秋期)は、8月後半に、3月に行われる入学試験(春期)は、翌年1月後半です。

■「推薦書」は必要でしょうか。

提出する必要はありません。

■受験の際に、職場同意書や在職証明の類のものは必要でしょうか。

提出する必要はありません。

■専門科目（「図書館・情報学」）はどのような出題でしょうか。

図書館に関して、基本的なことから、実務に関することから、最近のトピックの3問を出題し、3問とも解答して頂く予定です。学事センターから過去の問題を入手できます。

■定員は何名ですか。

定員は、1学年10名ですが、多少の幅を考慮しています。

■修士論文を書かないで修了することはできますか。

修士論文を書き、論文が合格することが必要です。

■何年まで在籍できますか。

4年間在籍できます。休学期間は算入されません。

■夜間開講の曜日を教えてください。

夜間の開講曜日は月曜日と木曜日です。

■講義は平日夜間と土曜日だけ開講されているのですか。

夏休みに集中講義が開講されています。

■昼間の図書館・情報学分野の科目は履修できますか。

通算8単位まで履修できます。

■土曜日開講の講義のみで修了単位を満たすことは可能でしょうか。

土曜日だけでは、2年間で総計24単位しか履修できません。また、論文指導や抄読会などの必修科目（情報資源管理特殊講義演習I～IV）は土曜日以外に開講します。

■厚生労働省の「教育訓練給付制度」の指定講座でしょうか。

指定講座となっています。

■休学や留学の制度はありますか。

大学院文学研究科にある休学、留学の制度をそのまま適用します。